

平成26年度

年 報

平成27年3月

富山県自然博物館ねいの里

目 次

I	施設の概要	
1	沿革	2
2	設置目的と役割	2
3	施設の概要	3
4	施設の変遷	3
5	指定管理者制度の導入	4
II	利用状況	
1	来館者数	5
2	団体来館者数	5
3	開催行事	6
4	ナチュラリスト活動	6
5	園外普及活動	7
6	実習生の受け入れ	7
7	鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ	7
8	自然に関する相談件数	8
III	県からの委託業務	
1	野生鳥獣共生管理員の配置	8
2	生物多様性保全推進事業	8
3	富山県ニホンザル保護管理計画におけるモニタリング調査業務	8
4	ジュニアナチュラリスト活動支援事業	9
5	生物多様性保全推進アドバイザー事業	9
6	自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業	9
IV	自然塾の会の活動	
1	組織	9
2	活動内容	10
V	広報活動	
1	ホームページの刷新	10
2	テレビ、ラジオへの協力・出演	10

I. 施設の概要

1 沿革

昭和46年	5月	県民公園構想発表
昭和49年	6月	自然博物館基礎調査
昭和54年	8月	自然博物館基本設計
昭和55年	7月	自然博物館整備工事施工
昭和56年	6月2日	自然博物館 開園
昭和59年	10月	富山県鳥獣保護センター併設
昭和63年	10月	展示館の展示替えオープン
平成元年	10月	キジ野生化訓練場新設
平成10年	8月	イヌワシモニタリングシステム(南砺市小瀬)稼働
平成18年	4月	指定管理者制度導入
平成19年	3月	展示館の展示替えオープン(人と生き物との共生)
平成21年	4月	いこいの村移管施設(4.2ha)管理受託

2 設置目的と役割

人間が自然といかに付き合っていくらよいかと言う大きな問題に対するアプローチとして「身近な自然の再発見」をテーマに、県民の誰でもが自然に親しみ、学べる場を設け、展示や野外の自然解説を通して、自然への興味、関心を高め、自然を愛し守り育てることを目的としている。

【基本となるテーマと理念】

- (1) 自然に親しむ
- (2) 自然に学ぶ
- (3) 自然を育てる

上記のテーマと理念の実現を図るために環境教育を実施する役割を持っている。なお、環境教育の目標は次の5つを考えている。

- (1) 自然に興味を持つ人を育てる。(自然への親しみ、自然への興味を養う)
- (2) 自然を理解できる人を育てる。(自然仕組を学び科学的に見る目を養う)
- (3) 自然を愛する人を育てる。(自然や環境に対する感受性と愛情を養う)
- (4) 自然を守る人を育てる。(自然の中のマナーと環境に対する論理を養う)
- (5) 指導者を育てる。(自然解説・環境教育の理念と技術を養う)

この教育目標を達成させるための活動の理念として、実物を通じた体験・生態的なものの見方・環境の多面的な見方・自然と人間の生活との関連についての見方等である。

また、近年、希少野生動植物の絶滅の危惧、生物多様性保全の重要性、ツキノワグマやイノシシを始めとする人との軋轢が増加してきている野生動物との関係など、野生生物に関する新たな課題が発生してきており、これらの諸問題に対応する必要にも迫られている。

3 施設の概要

1) 自然博物館センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- (2) 建物面積 延床面積726.54㎡
- (3) 施設内容 1階 展示室、レクチャールーム
2階 展示室、事務室、トイレ、研究資料室
- (4) 関連施設 野外倉庫 プレハブ平屋建て 延床面積9.93㎡
駐車場3台、鳥獣野化訓練場

2) 鳥獣保護センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋金網造 1階建て
- (2) 建物面積 112.52㎡
- (3) 施設内容 救護室、飼育室8室
- (4) 関連施設 焼却施設 金属造

3) フィールド

- (1) 森の生態園 約138,000㎡
- (2) 水辺の生態園 約8,500㎡
- (3) 園路 1周約2km 自然観察路として整備
- (4) 工作物 バッドハウス 1式 木造
水辺の生態園休憩舎 1式 木造

4 施設の変遷

1) 野外学習施設

(1) 生態園の設置

サンショウウオ、モリアオガエル、ハッチョウトンボ、メダカ、テツギョ等の小動物を保護し野外観察の拠点とした生態園の整備を昭和61年4月から実施し、昭和63年度に標識を立て野外活動に利用している。また、昭和63年度には捨土場所を植物遷移の観察用生態園として設定し、5年毎に植生調査をしてその記録を表示している。(現在は「かたかごの丘」として整備)

また、平成15年度からいこいの村富山の水生庭苑整備を受託し、水辺のビオトープとして整備してきている。

(平成22年度からは県有地となったため、県から受託)

(2) 野外学習コース

開園時に設定した、しぜん博士コース・野外探検コース・緑のパズルコース等の野外学習コースを平成元年度から平成3年度にかけて更新した。なお、更新に当たっては、問題および設置場所の一部を更新した。

また、平成24年度には、しぜん博士コースと野外探検コースを統合し、新たにしぜん探検コースを設置した。

2) 第1回展示館の展示更新(昭和63年10月展示替え)

(1) 展示の主な特徴

- イ. 実物を通し体験できる展示及び機器の導入。
- ロ. 季節的に入れ替えができる展示。
- ハ. 展示の対象地域を「ねいの里」フィールドから県内一円に拡大する。

(2) 展示替えにより新設した内容

全方位観察ボックス・立体投影器・私たちの仲間・フィールド玉手箱・海辺の鳥たち・サンショウウオの水槽・2万年前の「ねいの里」(石器)・カモシカの剥製・富山の四季の生き物・クローズアップ

3) 第2回展示館の展示更新(平成19年3月展示替え)

「人と自然との共生」を目指し、クマやサルなど、人との間で軋轢のある動物などはく製や生態についてのパネル展示、被害防除法などを新設した。

また、里山やそこに生息する生き物の紹介、渡り鳥の生態、昆虫標本や鳥のはく製などを一部更新した。

4) キジ野化訓練場の新設 (平成元年10月完成)

最近、堤防の草刈がさかんになったことや麦畑が増えたことから、キジの卵が多く持ち込まれ、沢山の雛がかえり鳥獣保護センターの野化訓練室では収容しきれなくなったので野化訓練場を新設した。この野化訓練場は、雑木林を生かし自然に近い環境になっている。

5 指定管理者制度の導入

平成15年6月に地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)が成立し、「指定管理者制度」が創設された。

この制度は、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するために公の施設の管理に民間事業者等のノウハウ等を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的としている。

この制度により、これまで出資法人等に限られていた公の施設の管理を株式会社等の民間事業者やNPO団体等も行うことができるようになった。

富山県では、原則として公募により指定管理者を選定することとし、自然博物館ねいの里も指定管理者制度の対象施設となり、今年度は2回目の指定管理期間の最終年度にあっている。

これまでの指定管理期間は次のとおり。

回	期 間	指定管理者
第1回	平成18年4月1日～平成21年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第2回	平成21年4月1日～平成25年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第3回	平成25年4月1日～平成30年3月31日	公益財団法人富山県民福祉公園

Ⅱ 利用状況

1 来館者数

(1) 平成 26 年度来館者数

月 内訳	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大人	928	1,648	769	1,149	775	1,294	1,131	1,098	312	423	300	593	10,420
子供	617	1,063	464	677	697	1,055	993	774	211	269	162	399	7,381
計	1,545	2,711	1,233	1,826	1,472	2,349	2,124	1,872	523	692	462	992	17,801

(2) 開館以来の来館者数

S56	S57	S28	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3
28,608	47,356	37,633	46,653	58,585	60,825	55,174	43,211	43,944	35,586	43,450
H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
42,298	35,524	27,602	26,770	25,873	27,598	23,581	21,260	21,523	20,007	18,449
H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
17,891	18,212	17,383	18,162	17,383	18,173	14,174	14,720	14,947	14,178	16,605
H26										合計
17,801										991,139

2 団体来館者数

団体内訳	件数	人数
学校など（教育活動）	24件	1,437人
幼稚園、保育園	13件	704人
一般団体	70件	2,342人
子育て支援グループ等	130件	2,222人
合計	237件	6,705人

3 開催行事

月日	行事名	参加者(人)
4月1日～5月23日	日本鳥類保護連盟富山県支部写真展	-
4月19日	春の生き物とデート	50
5月10日	野鳥観察の日	89
5月11日	愛鳥週間・探鳥の日	37
5月13日	野鳥ふれあいの日	23
5月18日	海浜釣糸清掃	29
5月24日～6月30日	愛鳥ポスター展	-
6月28日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	50
7月2日～8月4日	自然保護協会環境写真展	-
7月5日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	134
7月12日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	95
7月12日～8月31日	県内のカブト・クワガタ展	-
7月13日	ナチュラリスト養成講座(ねいの里研修)	68
7月26日	トンボの調査と標本作り	39
8月6日～8月18日	環境月間ポスター展	-
8月9日	夜の昆虫大探検 PART1	47
8月27日～9月23日	キリギリスのお宿	-
9月3日～11月24日	ねいの里キノコ写真展	-
9月6日	有峰の自然を探る(アサギマダラ等調査)	14
9月13日	夜の昆虫大探検 PART2	47
10月13日	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ	184
11月3日	巣箱づくりと公園街道を歩く	46
11月26日～3月30日	ネイチャーフォト展	-
12月10日～1月19日	春の七草実物展	-
1月4日～6日	「春の七草」頒布会	324
2月15日	冬の生きもの観察動物の恵みに感謝	44
3月21日	ねいの里の春みつけ!	48

4 ナチュラリスト活動

昭和56年のねいの里開園以来、県のナチュラリスト活動の拠点として、シーズン中の土日祝日にナチュラリストの配置を行っている。

今年度においても、4月26日(土)から11月3日(祝)まで、1名または2名のナチュラリストを配置し、展示館とフィールドで活動を行った。

5 園外普及活動

野生動物による人身や農作物被害を防ぐための地域講習会の開催や、地域の野生生物保護活動に対する講師派遣などを行った。

期日	派遣先	派遣者	派遣内容
7月17日	砺波学園	館長・間宮	クマ研修会
9月13日	安田農地水保全管理活動	田中	河川調査指導者
9月26日	砺波緑の少年団	間宮	野生動物との共生
H27 2月18日	新川地区鳥獣対策協議会	間宮・赤座	野生鳥獣の防除
3月8日	南砺市親子わんぱく自然教室	赤座	野生動物のレクチャー

6 実習生の受け入れ

スマイル交流学习で、富山市立城山中学校の生徒を受け入れ、園内や展示館等の管理作業の体験を行ってもらった。

- 1 受入期間 平成26年12月11日（木）
- 2 受入生徒 全学年 5名

7 鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ

昭和59年の鳥獣保護センター開設以来、県と連携して、搬入された野生鳥獣に関して適正な治療を施し、鳥獣の種類ごとに区画された飼育室でリハビリを行った後、放鳥・放獣を行っています。

平成26年度の救護実績は次のとおり。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
鳥類	6	51	55	42	26	18	22	12	8	2	6	3	251
獣類	0	8	1	3	0	3	2	0	2	4	2	3	28
卵	0	27	0	8	9	0	0	0	0	0	0	0	44
計	6	86	56	53	35	21	24	12	10	6	8	6	323

8 自然に関する相談件数

年間を通して、電話等で自然に関する様々な相談を受けており、適切に対応している。

	傷病鳥獣	自然全般	マスコミ問合せ	行政問合せ	その他	計
哺乳類	23	20	0	4	2	49
鳥類	184	88	5	1	1	279
その他脊椎動物	0	10	0	0	0	10
無脊椎動物	0	16	2	0	0	18
植物	0	7	3	0	0	10
菌類	0	17	0	0	0	17
その他	0	3	4	2	9	18
計	207	161	14	7	12	401

III 県からの委託業務

1 野生鳥獣共生管理員の配置

野生鳥獣共生管理に関する次の事業を実施するため、県自然保護課及びねいの里に職員を配置した。

- (1) 野生鳥獣と人との共生に関わる専門的助言・指導（レファレンス）
- (2) 野生鳥獣による人身被害、生活環境及び農林行被害防除のための地域講習会の開催
- (3) 野生鳥獣の被害対策（電気柵の設置など）の現地指導
- (4) 有害鳥獣対策協議会づくりの推進
- (5) 野生鳥獣の各種モニタリング調査の実施
- (6) クマの捕獲と放獣に関する現地での市町村支援
- (7) リーフレットによる広報の実施などの普及啓発

2 生物多様性保全推進事業

県の野生生物担当と協力して、生物多様性に関する相談（生態やビオトープなど）、問い合わせ対応（レファレンス）、普及啓発・広報、関係団体との意見交換などを行った。

また、生物多様性についての調査活動として、クマ、サルや各種鳥類の生息状況調査、自動撮影装置を使つての哺乳類調査などを行うとともに、ホームページによるツキノワグマ出没状況の情報発信のためのデータ入力を行った。

一方、ねいの里でも入館者に対し人と野生動物との共生をテーマにレクチャーするとともに、ねいの里ホームページでの自然情報等の発信を行った。

3 富山県ニホンザル保護管理計画におけるモニタリング調査業務

農業に被害を及ぼしているニホンザルの群れの分布、行動圏域を把握するためのモニタリング調査の実施、報告書の作成（行動域調査、個体群調査、群れ構成調査等）。

4 ジュニアナチュラリスト活動支援事業

将来の優れた県ナチュラリストを養成するため、ジュニアナチュラリストに対して、県ナチュラリスト等と連携し、自然観察会及び研修活動への参加の機会を提供し、ジュニアナチュラリストによる自然体験活動を推進した。

具体的には、次の3事業を実施した。

(1) 自然解説活動の体験

県ナチュラリスト等の指導のもとに、自然解説の一部を担当するなど自然解説活動を行った。

(2) 自然観察活動の体験

自然公園等での自然観察会に参加し、自然観察や解説方法についての理解を深め、将来のナチュラリスト活動に役立てた。

(3) 研究活動

ジュニアナチュラリストとして、アサギマダラ調査など研究課題を持ち研究調査活動に取り組み、資質の向上に役立てた。

5 生物多様性保全推進アドバイザー事業

生物多様性保全アドバイザーは、生物多様性保全に関する専門的な知識と豊富な経験を有する人材を自然博物館ねいの里に配置し、生物多様性の普及に関する業務を行うもので具体的には次の業務を行った。

(1) ねいの里におけるレッドリスト掲載種の普及啓発

(2) 鳥獣救護に関する適切な助言・指導

(3) ジュニアナチュラリスト等への環境教育活動における指導

(4) その他、生物多様性の保全を効果的に推進するための助言・指導

6 自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業

「いこいの村富山」から移管を受けた水辺の生態園やねいの里専用駐車場などについて、①清掃業務、②草刈り等業務、③除雪業務等を行なった。

IV 自然塾の会の活動

1 組織

ねいの里では、平成18年度より里山での生物多様性保全を目指した活動を中心とした『生き物ふれあい自然塾』を開校した。自然に親しみ・自然に学び・自然を守り育てる活動をとおり、私たちを取り巻く自然環境(生態系)について学ぶ塾での活動や、塾生独自の活動を行うため、自然塾の会が組織されている。

2 活動内容（自然塾の会独自事業のみ）

月 日	定例会行事内容	参加人数（人）
5月 5日（祝）	新緑の里山ハイキング	17
6月 1日（日）	ねいの里の薬草を探そう	9
9月21日（日）	植物観察（白木峰）	12
12月7日（日）	クリスマスリース作り	34
2月 1日（日）	カンジキハイク	17
3月21日（土）	総会	—

V 広報活動

1 ホームページの刷新

2年前に全面的にリニューアルしたホームページを適切に更新した。

また、リアルタイムの情報提供を行うため、自然情報ブログを導入した。

Webアドレス：<http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

自然情報ブログアドレス：<http://neinosato.blog.fc2.com/>

2 テレビ、ラジオ等への協力・出演

年	月	日	氏名	内容	依頼者
26	4	1	田中純	県内のサンショウウオ展	北日本新聞
	4	19	富永館長	春の生きものとデート	富山新聞
	5	13	富永館長	愛鳥週間：ふれあいの日	富山新聞・KNB・BBT 上婦負ケーブルテレビ
	6	4	富永館長	モリアオガエルの産卵	KNB
	6	6	松崎勇	モリアオガエルの産卵	北日本新聞
	6	11	富永館長・田中純	ヘイケボタル	KNB
	7	2	田中純	元気とやま情報チャンネル(クイズ：ヒバカリ)	BBT
	7	18	松崎勇	大賀ハス	北日本新聞・富山新聞 KNB
	7	19	岡圭一	大賀ハス	上婦負ケーブルテレビ
	8	17	田中純	カブト・クワガタ展	北日本新聞
	8	25	松崎勇	ミズアオイ	富山新聞
	8	28	富永館長	「こんにちは富山県です」	KNB

	9	8	岡圭一	ミズアオイ	朝日新聞
	9	11	富永館長	ミズアオイ	KNB
	10	13	岡圭一	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ	北日本新聞
	11	6	松崎勇	キノコ写真展	TOYAMA CITY FM
	11	3	松崎勇	巣箱づくりと公園街道を歩く	北日本新聞・富山新聞
	12	20	富永館長	春の七草実物展	北日本新聞
	12	21	富永館長	春の七草実物展	富山新聞
	12	25	富永館長	手作り遊具	富山新聞
27	1	4	富永館長	春の七草	北日本新聞・富山新聞 チューリップTV・NHK
	1	5	富永館長・岡圭一	春の七草	上婦負ケーブルテレビ
	1	14 ～	全職員	自然大好き「ねいの里だより」	北日本新聞
	2	4	富永館長	「至極の一冊」	上婦負ケーブルテレビ
	2	15	富永館長	冬の生き物観察と動物の恵みに感謝	富山新聞社
	2	19	富永館長	ヤマアカガエル	富山新聞社
	2	20	富永館長	ヤマアカガエル	北日本新聞社
	3	14	岡圭一	県内のサンショウオ展	上婦負ケーブルテレビ
	3	30	松崎勇	「至極の一冊」取材	上婦負ケーブルテレビ